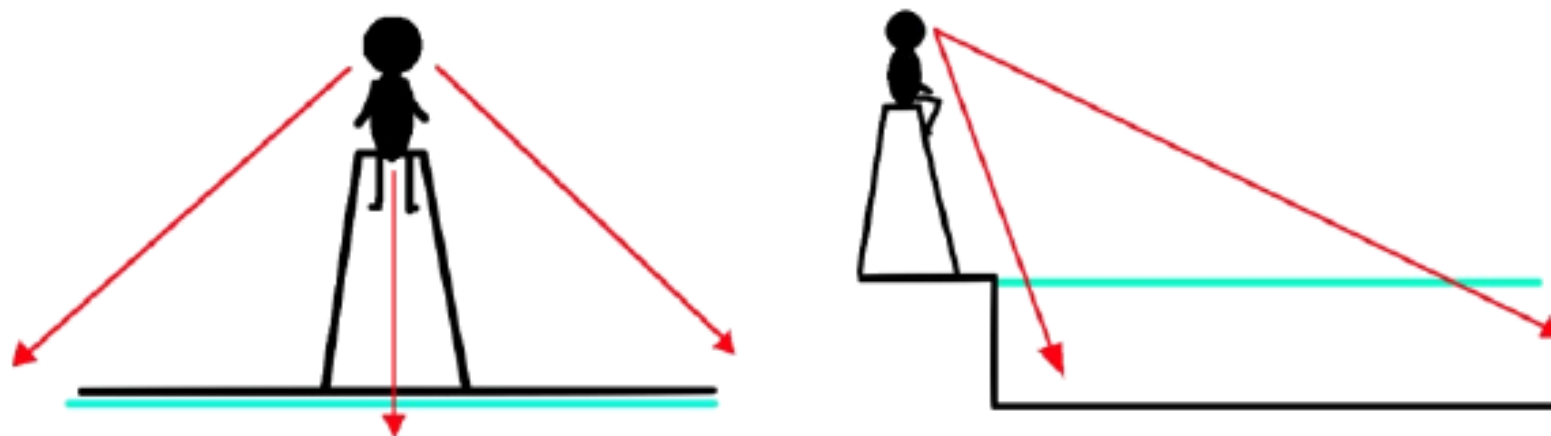


プールでの事故を防止するために



【救命措置等】

- 監視員を**適当数配置**しているか確認する。



プール全体がくまなく監視できるように配置する。
監視員は緊急時に速やかな対応が可能となる人数を確保する。

【救命措置等】

- 救命器具は、**緊急時に迅速に使用できる場所**に保管されているか確認する。
- 救命器具は、**常に適正に使用できる状態**か確認する。

＜救命器具＞

救命浮輪及び麻なわのほか、
自動体外式除細動器(AED)
搬送用担架、救急用医薬品
毛布 等



- **放送設備**及び**連絡設備**が使用できる状態か確認する。

【救命措置等】

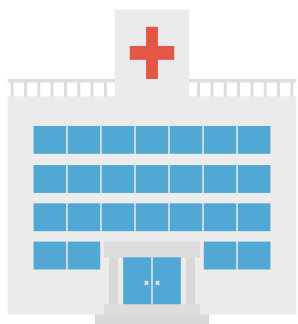
救命用具について
使い方の確認や訓練をとおして
関係者への周知を忘れずに行いませう！

救命用具によっては、使い方を誤るとかえって危険です。
緊急の場合、落ち着いて対応することは難しいです。
もしもに備えて、十分な準備をしましょう。



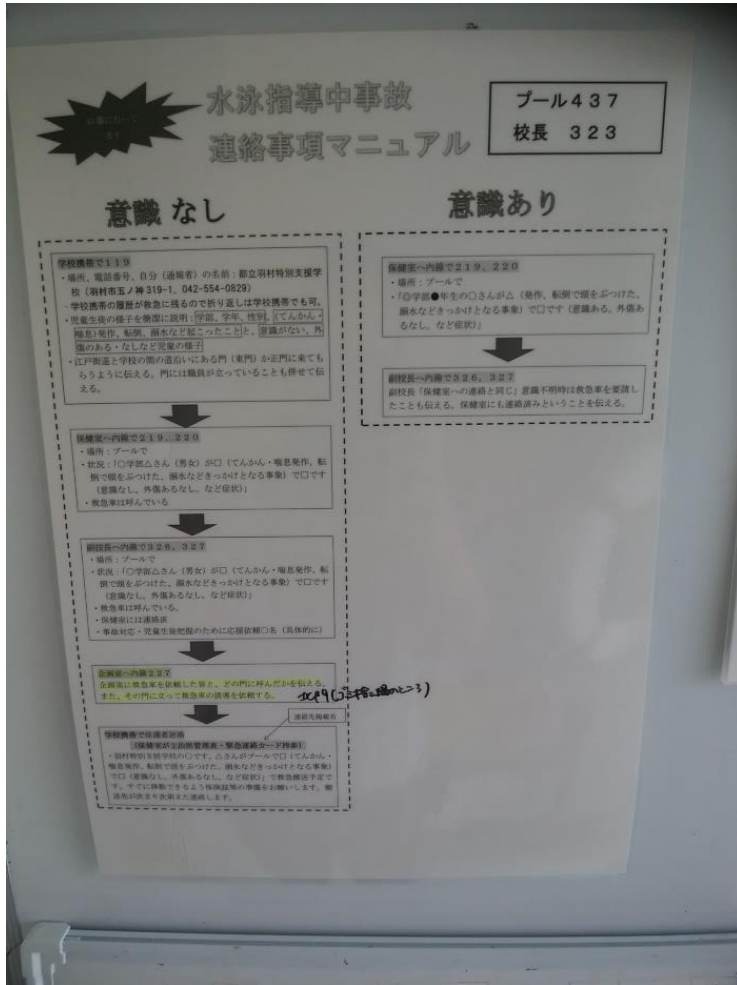
【救命措置等】

- 連絡体制及び対応方法について、マニュアルを作成するなど、体制を整備する。
 - 救命措置、通報と連絡
 - 水泳者への周知
 - 事故原因への対応
- マニュアル等は監視所に常備しているか確認する。



【救命措置等】

例：緊急時の対応マニュアル



プール用

緊急時 役割分担

発見者（監視）1名

※発見した教員は、ただちに監視に伝える。（大きな声で）
①事故発生の全体周知、全員退水の合図をする。
②速やかに記録用紙を取りに行く。（準備室に置いてあります）

連絡者（1名）

①と②について同時進行

①学校携帯 119番
②内線 全校放送

例) 緊急放送 緊急放送
プールにて緊急事態発生！
関係の先生はお集まりください。

副校長 ●●●
 保健室 ●●●
 企画室 ●●●

※保護者連絡は、副校長から行う

記録者（監視）

★準備室にある記録用紙に、時系列で記録をしていく
①事故発生の時間
②119番通報の時間
③心肺蘇生の開始時間
④AED使用の時間、回数
→など、本人の情報、傷病者の状態、行った処置を記録していく

⑤保護者、関係機関等への連絡の時間
⑥救急車の到着時間

他の教員

①他の児童生徒をプールサイドへ上げる
②人数点呼
③児童・生徒をプールから更衣室及び教室へ移動する。

※救急隊の誘導は企画室が行う。

救護・AED 2名以上

①救護
・浮輪などを使い救助活動を行う。
・状況の確認（意識・呼吸など）
・CPR（心肺蘇生法）をただちに行う。

②AED・毛布を用意し、引き上げ場所を指示する。

【救命措置等】

- 監視員に対する研修及び訓練を行っている。
(事故防止対策・事故発生時の対応、
その他安全及び衛生管理に必要な項目)



【アンケートのお願い】

御視聴いただき、ありがとうございました。

当動画の下の概要欄にあるURL又は
通知文掲載の二次元コードから、
アンケートの回答をお願いします。

また、受講済証の発行を希望する場合は、
アンケート回答画面から保存・使用できます。

適宜ご利用ください。